



『食べ物』も『水』も、『空気』も選んで

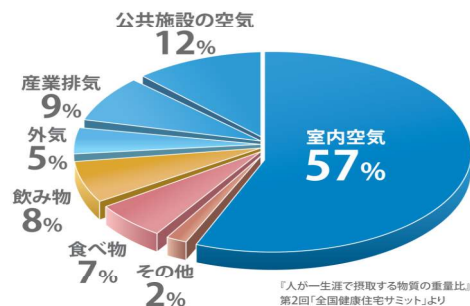
新築のお家や新車などで、独特のにおいを感じたことはありませんか？その嫌なにおいの原因は、内装建材や接着剤などから発生している、化学物質のにおいと考えられます。それらの化学物質の影響で、アレルギーなどの症状だけでなくめまいや頭痛などが引き起こされる「シックハウス症候群」が発症される恐れもあります。

人が体内に取り入れる物質のうち、生涯で最も体内に取り込まれるのは「空気」で、全体の80%近くを占めているのです。その中の半分以上が「室内空気」です。特に子どもは体が小さく体重1kgあたりの空気の摂取量が大人の2倍と言われるため、空気の影響をとて大きく受けています。

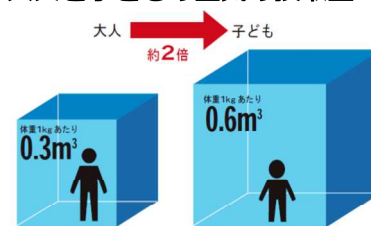
積水ハウスでは、空気配慮仕様『エアキス』をすべての新築住宅で展開しています。『エアキス』は、住宅性能表示制度で定められた5つの化学物質(ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン)をできるだけ出さない建材を650種類以上評価・選定しています。

更に出たものは吸着して減らし、花粉やPM2.5などの外から入ってくる粉じんを入れないようにしながら、室内の汚れた空気は換気するといった「化学物質の抑制」「空気清浄・換気」という大きな2つの取り組みにより、住まいの健康的な空気環境を目指します。

積水ハウスは、子供基準で化学物質に配慮することで、大人にとっても健やかな空気環境を目指しています。



■大人と子どもの空気の摂取量



出典: 東京都福祉保健局「化学物質の子どもガイドライン(室内空気編)」